

科目名	整形外科学【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	庄 野 菜穂子						
開講年次	2	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	骨、関節、靱帯、神経、筋、腱などに発生する運動器疾患は、リハビリテーション対象となるものが多く、正確な知識を身につけなければならない。整形外科学では、臨床で頻度の高い運動器における症状のみかた、および主要疾患や外傷のおこりかた、症状、検査、治療、その結果などについて解説する						
授業の 到達目標	①知識・理解 ・さまざまな症候、主要疾患についての疫学、病態、症状、検査、治療、予後について学ぶ ②思考・判断 ・小テストで症候や疾患ごとの共通点と相違点を整理する ③関心・意欲 ・くり返し復習し、疑問点は自主的に調べる ④態度 ・真面目に授業を聴講し、配布資料を整理し、積極的に活用する						
学習方法	講義を聞き、スライドを見ながら、学習ノートを完成し、小テストで知識を整理する						
テキスト及 び参考書等	テキスト：「整形外科学・学習ノート」 参考書：整形外科学テキスト（南江堂）、標準整形外科学（医学書院）						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎			100		
小テスト等	○	○					
宿題・授業外レポート							
授業態度			○				
受講者の発表							
授業への参加度			○				
その他							
合計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）</b>							
前 期	第1週	運動器疾患の概要					
	第2週	運動器疾患における診断、検査					
	第3週	骨・軟骨の基本構造・機能と病的状態					
	第4週	関節の基本構造・機能と病的状態					
	第5週	骨格筋の基本構造・機能と病的状態					
	第6週	神経組織の基本構造・機能と病的状態					
	第7週	運動器疾患における症候学					
	第8週	運動器疾患における症候学					
	第9週	外傷総論（捻挫、脱臼、骨折）					
	第10週	外傷総論（熱傷、切断、離断）					
	第11週	整形外科学的治療（保存療法）					
	第12週	整形外科学的治療（手術療法）					
	第13週	骨折総論					
	第14週	骨折総論					
	第15週	まとめ1					
	第16週						
後 期	第1週	骨折各論（体幹）					
	第2週	骨折各論（上肢）					
	第3週	骨折各論（上肢）					
	第4週	骨折各論（下肢）					
	第5週	骨折各論（下肢）					
	第6週	脱臼各論					
	第7週	腱・靱帯における外傷性疾患（上肢）					
	第8週	腱・靱帯における外傷性疾患（下肢）					
	第9週	運動器の炎症性疾患（感染症）					
	第10週	運動器の炎症性疾患（関節リウマチ、痛風ほか）					
	第11週	運動器の循環障害性疾患（骨端症、大腿骨頭壊死症）					
	第12週	運動器の退行性疾患（変形性関節症、骨粗鬆症ほか）					
	第13週	運動器の退行性疾患（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアほか）					
	第14週	骨・軟部腫瘍					
	第15週	まとめ2					
	第16週						
備考	授業外学習（事前学習・事後学習）の習慣を身につける						